

## 2. 麦類・大豆

### (1) 麦類(殺菌・殺虫剤)

◆注意事項

- ・一覧表の農業登録内容は原則令和5年12月15日現在のものです。
- ・農業の使用にあたっては、必ず手持ちの農業容器・包装のラベルに従ってください。
- ・普(普通物)とは、毒物・劇物に該当しないものを指している通称です。

薬剤名	農薬の種類	適用病害虫名	希釈倍数使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法		毒性	魚毒性		
アミスター2070アブル	アゾキシストロビン水和剤	株腐病	原液	は種前	1回	塗沫処理	小麦	普	I		
		紅色雪腐病				種子吹き付け処理					
キゲンR-270アブル	チラム水和剤	なまぐさ黒穂病	乾燥種子1kg 当り原液20mL	は種前	1回	塗沫処理	小麦	普	II		
		紅色雪腐病									
		斑葉病					大麦				
		網斑病									
シートラック水和剤	金属銀水和剤	なまぐさ黒穂病 (小麦)	20倍	は種前	1回	10分間種子 浸漬 塗沫処理	麦類	普	-		
			6倍								
			乾燥種子重量 の0.5~1.0%								
		黒節病	20倍							10分間種子 浸漬 種子粉衣 (湿粉衣)	
		乾燥種子重量 の0.5~1.0%									
		斑葉病(大麦)	20倍								10分間種子 浸漬 塗沫処理
		6倍									
		乾燥種子重量 の0.5~1.0%									
網斑病(大麦)	乾燥種子重量 の1.0%	種子粉衣 (湿粉衣)									
トリフィン水和剤	トリフミゾール水和剤	うどんこ病	1000~2000倍	収穫14日前 まで	3回以内	散布	麦類	普	I		
		なまぐさ黒穂病	種子重量の 0.5%	は種前	1回	種子粉衣					
		赤かび病	1000~2000倍	収穫14日前 まで	3回以内	散布					
		斑葉病	種子重量の 0.5%	は種前	1回	種子粉衣					
		網斑病									
		裸黒穂病									
ペントコート	チラム・ペノシル粉剤	なまぐさ黒穂病	乾燥種子重量 の0.5%	は種前	1回	種子粉衣	小麦	普	II		
		株腐病					大麦				
		条斑病					小麦				
		斑葉病					大麦				
		裸黒穂病					小麦				
							大麦				

◆注意事項

- ・一覧表の農薬登録内容は原則令和5年12月15日現在のものです。
- ・農薬の使用にあたっては、必ず手持ちの農薬容器・包装のラベルに従ってください。
- ・普(普通物)とは、毒物・劇物に該当しないものを指している通称です。

薬剤名	農薬の種類	適用病害虫名	希釈倍数使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法		毒性	魚毒性			
ペンレート水和剤 20	テラム・ペノシル水和剤	なまぐさ黒穂病	200倍	は種前	1回	6~24時間 種子浸漬	小麦	普	II			
							麦類(小麦を除く)					
			20倍			10~20分間 種子浸漬	小麦					
							麦類(小麦を除く)					
			7.5倍			種子吹き付け処理(種子消毒機使用)	小麦					
							麦類(小麦を除く)					
			乾燥種子重量の0.5%			種子粉衣	小麦					
							麦類(小麦を除く)					
			条斑病			200倍	は種前			1回	6~24時間 種子浸漬	小麦
												麦類(小麦を除く)
						20倍					10~20分間 種子浸漬	小麦
												麦類(小麦を除く)
		7.5倍		種子吹き付け処理(種子消毒機使用)	小麦							
					麦類(小麦を除く)							
		乾燥種子重量の0.5%		種子粉衣	小麦							
					麦類(小麦を除く)							
		斑葉病		200倍	は種前	1回		6~24時間 種子浸漬	小麦			
									麦類(小麦を除く)			
				20倍				10~20分間 種子浸漬	小麦			
									麦類(小麦を除く)			
			7.5倍	種子吹き付け処理(種子消毒機使用)			小麦					
							麦類(小麦を除く)					
			乾燥種子重量の0.5%	種子粉衣			小麦					
							麦類(小麦を除く)					
裸黒穂病	200倍		は種前	1回			6~24時間 種子浸漬	小麦				
								麦類(小麦を除く)				
	20倍						10~20分間 種子浸漬	小麦				
								麦類(小麦を除く)				
	7.5倍	種子吹き付け処理(種子消毒機使用)			小麦							
					麦類(小麦を除く)							
	乾燥種子重量の0.5%	種子粉衣			小麦							
					麦類(小麦を除く)							

◆注意事項

- ・一覧表の農薬登録内容は原則令和5年12月15日現在のものです。
- ・農薬の使用にあたっては、必ず手持ちの農薬容器・包装のラベルに従ってください。
- ・普(普通物)とは、毒物・劇物に該当しないものを指している通称です。

薬剤名	農薬の種類	適用病害虫名	希釈倍数使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法		毒性	魚毒性
アミスター2070アブル	アゾキシストロビン水和剤	うどんこ病	2000~3000倍	収穫7日前まで	3回以内	散布	小麦	普	I
		赤さび病							
オキソドール水和剤80	有機銅水和剤	紅色雪腐病	400倍	根雪前	2回以内	散布	麦類(小麦を除く)	普	II
					5回以内		小麦		
		雪腐小粒菌核病			2回以内		麦類(小麦を除く)		
					5回以内		小麦		
カググリーン	炭酸水素カルシウム水溶液	うどんこ病	500倍	収穫前日まで	-	散布	麦類	普	I
キノドール水和剤80	有機銅水和剤	雪腐病	400~800倍	根雪前	2回以内	散布	麦類(小麦を除く)	普	II
					5回以内		小麦		
シルバキュア70アブル	テブコナゾール水和剤	うどんこ病	2000倍	収穫14日前まで	2回以内	散布	大麦	普	I
				収穫7日前まで			小麦		
		赤かび病		収穫14日前まで			大麦		
				収穫7日前まで			小麦		
		雪腐小粒菌核病	1000~2000倍	根雪前	1回		大麦		
		網斑病	2000倍	収穫14日前まで	2回以内		大麦		
フィル乳剤25	プロトコナゾール乳剤	うどんこ病	2000~3000倍	収穫21日前まで	1回	散布	大麦	普	I
				収穫3日前まで	3回以内		小麦		
		雲形病	1000倍	収穫21日前まで	1回		大麦		
		紅色雪腐病	750~1000倍	根雪前	2回以内		小麦		
		赤かび病	1000~2000倍	収穫21日前まで	1回		大麦		
			収穫3日前まで	3回以内	小麦				
		赤さび病	1000~3000倍						
		雪腐小粒菌核病	750~1000倍	根雪前	2回以内				
網斑病	1000倍	収穫21日前まで	1回	大麦					
トップジンM水和剤	チオファネートメチル水和剤	うどんこ病	1000~2000倍	収穫14日前まで	3回以内(出穂期以降は2回以内)	散布	小麦	普	I
				収穫30日前まで	3回以内(出穂期以降は1回以内)		麦類(小麦を除く)		
		赤かび病	1000~1500倍	収穫14日前まで	3回以内(出穂期以降は2回以内)		小麦		
			収穫30日前まで	3回以内(出穂期以降は1回以内)	麦類(小麦を除く)				
		雪腐病	1000~2500倍	根雪前	3回以内(出穂期以降は2回以内)		小麦		

◆注意事項

- ・一覧表の農薬登録内容は原則令和5年12月15日現在のものです。
- ・農薬の使用にあたっては、必ず手持ちの農薬容器・包装のラベルに従ってください。
- ・普(普通物)とは、毒物・劇物に該当しないものを指している通称です。

薬剤名	農薬の種類	適用病害虫名	希釈倍数使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法		毒性	魚毒性
トップジンM粉剤DL	チオファネートメチル粉剤	赤かび病	3~4kg/10a	収穫14日前まで	3回以内 (出穂期以降は2回以内)	散布	小麦	普	I
			4kg/10a		3回以内 (出穂期以降は1回以内)		麦類(小麦を除く)		
トリフミン水和剤	トリフルミゾール水和剤	うどんこ病	1000~2000倍	収穫14日前まで	3回以内	散布	麦類	普	I
		赤かび病							
トリフミン乳剤	トリフルミゾール乳剤	うどんこ病	1000倍	収穫3日前まで	3回以内	散布	小麦	普	I
		赤かび病							
バシタック水和剤75	メプロニル水和剤	さび病	1000~1500倍	収穫30日前まで	2回以内	散布	麦類	普	I
		雪腐小粒菌核病	750~1500倍	根雪前					
ミラビスフロアブル	ピシフルメトン水和剤	赤かび病	1500~2000倍	収穫14日前まで	2回以内	散布	大麦	普	II
		赤さび病		収穫7日前まで			小麦		
ワークアップフロアブル	メトコナゾール水和剤	うどんこ病	2000倍	収穫7日前まで	3回以内	散布	麦類	普	I
		赤かび病	2000~3000倍						
		赤さび病	2000倍						
		雪腐小粒菌核病							
		網斑病							
ワークアップ粉剤DL	メトコナゾール粉剤	うどんこ病	3kg/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	麦類	普	I
		赤かび病							
		赤さび病							
		網斑病							
有機銅水和剤80	有機銅水和剤	雪腐病	400~800倍	根雪前	2回以内	散布	麦類	普	II
スミチオン乳剤	MEP乳剤	アブラムシ類	1000倍	収穫7日前まで	1回	散布	小麦	普	I
		アヲヨトウ					大麦		
							小麦		
							大麦		
スミチオン粉剤2DL	MEP粉剤	アブラムシ類	4kg/10a	収穫14日前まで	1回	散布	麦類	普	I
スミトップM粉剤	MEP・チオファネートメチル粉剤	アブラムシ類	4kg/10a	収穫14日前まで	1回	散布	小麦	普	I
							麦類(小麦を除く)		
		うどんこ病					小麦		
							麦類(小麦を除く)		
		ヒメヒメウカ					小麦		
		ムギアカタマハエ					麦類(小麦を除く)		
	小麦								
		赤かび病					麦類(小麦を除く)		

## (2) 大豆(殺菌・殺虫剤)

## ◆注意事項

- ・一覧表の農薬登録内容は原則令和5年12月15日現在のものです。
- ・農薬の使用にあたっては、必ず手持ちの農薬容器・包装のラベルに従ってください。
- ・普(普通物)とは、毒物・劇物に該当しないものを指している通称です。

薬剤名	農薬の種類	適用病害虫名	希釈倍数使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	備考	毒性	魚毒性
キゲン	チラム水和剤	タネハエ	乾燥種子重量の1%	は種前	1回	種子粉衣		普	II
		ハト							
		紫斑病							
キゲンR-2フロアール	チラム水和剤	タネハエ	乾燥種子1kg当り原液20mL	は種前	1回	塗沫処理		普	II
		紫斑病							
		苗立枯病							
クルザ-FS30	チアトキサム水和剤	アフラムシ類	乾燥種子1kg当り原液6mL	は種前	1回	塗沫処理		普	I
		タネハエ							
		ネキリムシ類							
		フタスジヒメハムシ							
クルザ-MAXX	チアトキサム・フルジオキニル・メタキシルM水和剤	アフラムシ類	原液	は種前	1回	塗沫処理	乾燥種子1kg当り8mL	普	I
		タネハエ							
		ネキリムシ類							
		フタスジヒメハムシ							
		リゾクトニア根腐病							
		茎疫病							
		黒根腐病							
		紫斑病							
		白絹病							
		苗立枯病(ヒシウム菌)							
ベントール水和剤20	チラム・ベノミル水和剤	紫斑病	乾燥種子重量の0.2~0.4%	は種前	1回	種子粉衣		普	II
ランマンフロアール	シアゾファミド水和剤	茎疫病	原液	は種前	1回	種子塗沫	種子重量の2%	普	I
Zボルト-	銅水和剤	紫斑病	500倍	-	-	散布		普	I
		斑点細菌病							
		葉焼病							
Zボルト-粉剤DL	銅粉剤	茎疫病	3kg/10a	-	-	散布		普	I
		紫斑病							

## ◆注意事項

- ・一覧表の農薬登録内容は原則令和5年12月15日現在のものです。
- ・農薬の使用にあたっては、必ず手持ちの農薬容器・包装のラベルに従ってください。
- ・普(普通物)とは、毒物・劇物に該当しないものを指している通称です。

薬剤名	農薬の種類	適用病害虫名	希釈倍数使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	備考	毒性	魚毒性
アミスター2070アブル	アゾキシトロピン水和剤	べと病	2000倍	収穫7日前まで	2回以内	散布		普	I
		紫斑病	2000~3000倍						
		腐敗粒	2000倍						
ゲッター水和剤	ジエトフェカルブ・チオファネートメチル水和剤	紫斑病	1000倍	収穫14日前まで	3回以内	散布		普	I
ドイボルトDF	銅水和剤	斑点細菌病	500倍	-	-	散布		普	I
トップジンM水和剤	チオファネートメチル水和剤	菌核病	700~1000倍	収穫14日前まで	4回以内	散布		普	I
		紫斑病	700~1500倍						
トップジンM粉剤DL	チオファネートメチル粉剤	紫斑病	4kg/10a	収穫14日前まで	4回以内	散布		普	I
トライフロアブル	テフプロキン水和剤	紫斑病	1000倍	収穫14日前まで	2回以内	散布		普	I
ハリタシン液剤5	ハリタマイシン液剤	葉焼病	500倍	収穫7日前まで	3回以内	散布		普	I
ファンタジスタフロアブル	ヒリベンカルブ水和剤	菌核病	1000~2000倍	収穫7日前まで	3回以内	散布		普	I
		紫斑病							
フェスティバルG水和剤	ジメモルフ・銅水和剤	べと病	600倍	収穫7日前まで	3回以内	散布		普	I
		茎疫病							
		斑点細菌病							
		葉焼病							
ベンコセブ水和剤	マンゼブ水和剤	べと病	400倍	収穫45日前まで	3回以内	散布		普	I
		紫斑病							
ベンレート水和剤	ベンゾミル水和剤	菌核病	1000~2000倍	収穫前日まで	4回以内	散布		普	I
		紫斑病							
ランマンフロアブル	シアゾファミド水和剤	べと病	1000~2000倍	収穫7日前まで	3回以内	散布		普	I
		茎疫病							
リゾレックス水和剤	トルクロホスチル水和剤	白絹病	1000倍	収穫14日前まで	3回以内	土壌灌注		普	I
リドミルゴールドMZ	マンゼブ・メタラキシルM水和剤	べと病	500倍	収穫45日前まで	3回以内	散布		普	I
		茎疫病							
アタロン乳剤	カルフルアスロン乳剤	材たばこガ	4000倍	収穫14日前まで	2回以内	散布		普	I
		ハスモンヨトウ	2000~4000倍						

## ◆注意事項

- ・一覧表の農薬登録内容は原則令和5年12月15日現在のものです。
- ・農薬の使用にあたっては、必ず手持ちの農薬容器・包装のラベルに従ってください。
- ・普(普通物)とは、毒物・劇物に該当しないものを指している通称です。

薬剤名	農薬の種類	適用病害虫名	希釈倍数使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	備考	毒性	魚毒性
アルパ <sup>®</sup> リン粉剤DL	ジノテフラン粉剤	カメムシ類	3kg/10a	収穫7日前まで	2回以内	散布		普	I
		タ <sup>®</sup> イス <sup>®</sup> サヤタマハ <sup>®</sup> エ							
		フタスジ <sup>®</sup> ヒメハムシ							
エルサン乳剤	PAP乳剤	ア <sup>®</sup> ラムシ類	1000~2000倍	収穫7日前まで	2回以内	散布		劇	I
		カメムシ類	1000倍						
		シロイチモシ <sup>®</sup> マダ <sup>®</sup> ラムイ <sup>®</sup> カ <sup>®</sup>	1500~2000倍						
		ツメクサガ <sup>®</sup>	1000倍						
		ハスモンヨトウ							
		マメシクイカ <sup>®</sup>							
エルサン粉剤3DL	PAP粉剤	カメムシ類	3~4kg/10a	収穫7日前まで	2回以内	散布		普	I
		シロイチモシ <sup>®</sup> マダ <sup>®</sup> ラムイ <sup>®</sup> カ <sup>®</sup>							
		ハスモンヨトウ	4kg/10a						
キラップ <sup>®</sup> フロアブル	エチブ <sup>®</sup> ロール水和剤	カメムシ類	2000倍	収穫7日前まで	2回以内	散布		普	I
キラップ <sup>®</sup> 粉剤DL	エチブ <sup>®</sup> ロール粉剤	カメムシ類	3kg/10a	収穫7日前まで	2回以内	散布		普	I
グレースシア乳剤	フルキサメタミド <sup>®</sup> 乳剤	ウコンノメイカ <sup>®</sup>	2000~3000倍	収穫14日前まで	2回以内	散布		普	I
		オオタバコガ <sup>®</sup>							
		ハスモンヨトウ							
		ハタ <sup>®</sup> ニ類							
		フタスジ <sup>®</sup> ヒメハムシ							
		マメシクイカ <sup>®</sup>							
スターケルメイト液剤10	ジノテフラン液剤	カメムシ類	1000倍	収穫7日前まで	2回以内	散布		普	I
		タ <sup>®</sup> イス <sup>®</sup> サヤタマハ <sup>®</sup> エ							
		フタスジ <sup>®</sup> ヒメハムシ							
スターケル液剤10	ジノテフラン液剤	カメムシ類	1000倍	収穫7日前まで	2回以内	散布		普	I
		タ <sup>®</sup> イス <sup>®</sup> サヤタマハ <sup>®</sup> エ							
		フタスジ <sup>®</sup> ヒメハムシ							

## ◆注意事項

- ・一覧表の農薬登録内容は原則令和5年12月15日現在のものです。
- ・農薬の使用にあたっては、必ず手持ちの農薬容器・包装のラベルに従ってください。
- ・普(普通物)とは、毒物・劇物に該当しないものを指している通称です。

薬剤名	農薬の種類	適用病害虫名	希釈倍数使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	備考	毒性	魚毒性
スタークル粉剤DL	ジノテフラン粉剤	カメムシ類	3kg/10a	収穫7日前まで	2回以内	散布		普	I
		ダズイサヤタバハエ							
		フタスジヒメハムシ							
スミチオン乳剤	MEP乳剤	アブラムシ類	1000~2000倍	収穫21日前まで	4回以内	散布		普	I
		ウコンノメイガ	1000倍						
		カメムシ類							
		シロイモシマダラメイガ							
		ダズイサヤタバハエ							
		マメシクイガ	1000~1500倍						
		マメハンミョウ	1000倍						
マメヒメサヤムシガ									
スミチオン粉剤3DL	MEP粉剤	カメムシ類	4kg/10a	収穫21日前まで	4回以内	散布		普	I
ゼンタリ顆粒水和剤	BT水和剤	ハスモンヨトウ	1000倍	発生初期 但し、収穫前日まで	-	散布		-	-
トレボン乳剤	イトフェン® ロックス乳剤	アブラムシ類	1000倍	収穫14日前まで	2回以内	散布		普	I
		ウコンノメイガ							
		カメムシ類							
		シロイモシマダラメイガ							
		ダズイサヤタバハエ							
		ツメクサガ							
		ハスモンヨトウ							
		フタスジヒメハムシ							
マメシクイガ									



## ◆注意事項

- ・一覧表の農薬登録内容は原則令和5年12月15日現在のものです。
- ・農薬の使用にあたっては、必ず手持ちの農薬容器・包装のラベルに従ってください。
- ・普(普通物)とは、毒物・劇物に該当しないものを指している通称です。

薬剤名	農薬の種類	適用病害虫名	希釈倍数使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	備考	毒性	魚毒性
トホ <sup>®</sup> ン粉剤DL	イトフェン <sup>®</sup> ロックス粉剤	ア <sup>®</sup> ラムシ類	4kg/10a	収穫14日前まで	2回以内	散布		普	I
		カ <sup>®</sup> ムシ類							
		シ <sup>®</sup> ロイモシ <sup>®</sup> マ <sup>®</sup> タ <sup>®</sup> ラ <sup>®</sup> メイ <sup>®</sup> カ <sup>®</sup>							
		タ <sup>®</sup> イ <sup>®</sup> サ <sup>®</sup> ヤ <sup>®</sup> タ <sup>®</sup> マ <sup>®</sup> ハ <sup>®</sup> エ							
		ハ <sup>®</sup> スモンヨトウ							
		フ <sup>®</sup> タ <sup>®</sup> シ <sup>®</sup> ヒ <sup>®</sup> メ <sup>®</sup> ハ <sup>®</sup> ム <sup>®</sup> シ							
マ <sup>®</sup> メ <sup>®</sup> シ <sup>®</sup> ク <sup>®</sup> イ <sup>®</sup> カ <sup>®</sup>									
ニ <sup>®</sup> ツ <sup>®</sup> ラ <sup>®</sup> ン水 <sup>®</sup> 和 <sup>®</sup> 剤	ヘ <sup>®</sup> キ <sup>®</sup> チ <sup>®</sup> ア <sup>®</sup> ソ <sup>®</sup> ク <sup>®</sup> ス水 <sup>®</sup> 和 <sup>®</sup> 剤	ハ <sup>®</sup> タ <sup>®</sup> ニ <sup>®</sup> 類	2000~3000倍	収穫7日前まで	2回以内	散布		普	I
ネ <sup>®</sup> キ <sup>®</sup> リ <sup>®</sup> エ <sup>®</sup> ー <sup>®</sup> ス <sup>®</sup> K	イ <sup>®</sup> ツ <sup>®</sup> キ <sup>®</sup> サ <sup>®</sup> チ <sup>®</sup> オ <sup>®</sup> ン粒 <sup>®</sup> 剤	ネ <sup>®</sup> キ <sup>®</sup> リ <sup>®</sup> ム <sup>®</sup> シ <sup>®</sup> 類	3kg/10a	は種時~本葉2葉期	2回以内	土壌表面株元処理		普	I
ノ <sup>®</sup> ー <sup>®</sup> モ <sup>®</sup> ルト乳 <sup>®</sup> 剤	テ <sup>®</sup> フル <sup>®</sup> ベ <sup>®</sup> ン <sup>®</sup> ズ <sup>®</sup> ロ <sup>®</sup> ン乳 <sup>®</sup> 剤	ハ <sup>®</sup> スモンヨトウ	2000倍	収穫14日前まで	2回以内	散布		普	I
フェ <sup>®</sup> ニ <sup>®</sup> ク <sup>®</sup> ス <sup>®</sup> フ <sup>®</sup> ロ <sup>®</sup> ア <sup>®</sup> ブル	フル <sup>®</sup> ベ <sup>®</sup> ン <sup>®</sup> ジ <sup>®</sup> ア <sup>®</sup> ミ <sup>®</sup> ド水 <sup>®</sup> 和 <sup>®</sup> 剤	ウ <sup>®</sup> コ <sup>®</sup> ノ <sup>®</sup> メ <sup>®</sup> イ <sup>®</sup> カ <sup>®</sup>	4000倍	収穫7日前まで	3回以内	散布		普	I
		オ <sup>®</sup> オ <sup>®</sup> タ <sup>®</sup> ハ <sup>®</sup> コ <sup>®</sup> カ <sup>®</sup>							
		ツ <sup>®</sup> メ <sup>®</sup> ク <sup>®</sup> サ <sup>®</sup> カ <sup>®</sup>							
		ネ <sup>®</sup> キ <sup>®</sup> リ <sup>®</sup> ム <sup>®</sup> シ <sup>®</sup> 類							
		ハ <sup>®</sup> スモンヨトウ	2000~4000倍						
ブ <sup>®</sup> ラ <sup>®</sup> ン <sup>®</sup> タ <sup>®</sup> ム乳 <sup>®</sup> 剤25	ジ <sup>®</sup> フェ <sup>®</sup> ノ <sup>®</sup> コ <sup>®</sup> ナ <sup>®</sup> ゾ <sup>®</sup> ール乳 <sup>®</sup> 剤	紫斑病	3000~5000倍	開花後~収穫7日前まで	2回以内	散布		普	I
ブ <sup>®</sup> レ <sup>®</sup> オ <sup>®</sup> フ <sup>®</sup> ロ <sup>®</sup> ア <sup>®</sup> ブル	ヒ <sup>®</sup> リ <sup>®</sup> ダ <sup>®</sup> リ <sup>®</sup> ル水 <sup>®</sup> 和 <sup>®</sup> 剤	オ <sup>®</sup> オ <sup>®</sup> タ <sup>®</sup> ハ <sup>®</sup> コ <sup>®</sup> カ <sup>®</sup>	1000倍	収穫7日前まで	2回以内	散布		普	I
		シ <sup>®</sup> ロ <sup>®</sup> イ <sup>®</sup> モ <sup>®</sup> シ <sup>®</sup> ヨ <sup>®</sup> トウ	1000~2000倍						
		ハ <sup>®</sup> スモンヨトウ							
		マ <sup>®</sup> メ <sup>®</sup> シ <sup>®</sup> ク <sup>®</sup> イ <sup>®</sup> カ <sup>®</sup>							
ブ <sup>®</sup> レ <sup>®</sup> ハ <sup>®</sup> ソ <sup>®</sup> ン <sup>®</sup> フ <sup>®</sup> ロ <sup>®</sup> ア <sup>®</sup> ブル5	ク <sup>®</sup> ラ <sup>®</sup> ン <sup>®</sup> ト <sup>®</sup> ラ <sup>®</sup> ニ <sup>®</sup> リ <sup>®</sup> フ <sup>®</sup> ロー <sup>®</sup> ル水 <sup>®</sup> 和 <sup>®</sup> 剤	ウ <sup>®</sup> コ <sup>®</sup> ノ <sup>®</sup> メ <sup>®</sup> イ <sup>®</sup> カ <sup>®</sup>	4000倍	収穫7日前まで	2回以内	散布		普	I
		オ <sup>®</sup> オ <sup>®</sup> タ <sup>®</sup> ハ <sup>®</sup> コ <sup>®</sup> カ <sup>®</sup>							
		ハ <sup>®</sup> スモンヨトウ							
		マ <sup>®</sup> メ <sup>®</sup> シ <sup>®</sup> ク <sup>®</sup> イ <sup>®</sup> カ <sup>®</sup>							
ヘ <sup>®</sup> カ <sup>®</sup> サ <sup>®</sup> ス <sup>®</sup> フ <sup>®</sup> ロ <sup>®</sup> ア <sup>®</sup> ブル	フル <sup>®</sup> ベ <sup>®</sup> ン <sup>®</sup> ジ <sup>®</sup> ア <sup>®</sup> ミ <sup>®</sup> ド水 <sup>®</sup> 和 <sup>®</sup> 剤	ハ <sup>®</sup> スモンヨトウ	2000~4000倍	収穫7日前まで	3回以内	散布		普	I
ベ <sup>®</sup> ネ <sup>®</sup> ビ <sup>®</sup> ア <sup>®</sup> OD	シア <sup>®</sup> ン <sup>®</sup> ト <sup>®</sup> ラ <sup>®</sup> ニ <sup>®</sup> リ <sup>®</sup> フ <sup>®</sup> ロー <sup>®</sup> ル水 <sup>®</sup> 和 <sup>®</sup> 剤	ア <sup>®</sup> フ <sup>®</sup> ラム <sup>®</sup> シ <sup>®</sup> 類	2000倍	収穫7日前まで	3回以内	散布		普	I
		ハ <sup>®</sup> スモンヨトウ	2000~4000倍						
		マ <sup>®</sup> メ <sup>®</sup> シ <sup>®</sup> ク <sup>®</sup> イ <sup>®</sup> カ <sup>®</sup>							

## ◆注意事項

- ・一覧表の農薬登録内容は原則令和5年12月15日現在のものです。
- ・農薬の使用にあたっては、必ず手持ちの農薬容器・包装のラベルに従ってください。
- ・普(普通物)とは、毒物・劇物に該当しないものを指している通称です。

薬剤名	農薬の種類	適用病害虫名	希釈倍数使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	備考	毒性	魚毒性
マトリックフロアブル	クロマフェニト水和剤	ハスモンヨトウ	2000～3000倍	収穫前日まで	3回以内	散布		普	I
マラソン乳剤	マラソン乳剤	アブラムシ類	2000～3000倍	収穫7日前まで	3回以内	散布		普	I
		コガネムシ類							
		ハダニ類							
		マメシクイガ	1000倍						
マラソン粉剤3	マラソン粉剤	アブラムシ類	3kg/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布		普	I
		シロイモシマダラメイガ							
		ハダニ類							
		マメシクイガ							
		マメハンミョウ							
		マメヒメヤムシ							
ロムダンフロアブル	テブフェニト水和剤	ハスモンヨトウ	2000倍	収穫14日前まで	3回以内	散布		普	I
ロムダン粉剤DL	テブフェニト粉剤	ハスモンヨトウ	4kg/10a	収穫14日前まで	3回以内	散布		普	I
アミスターレボーンSE	イトフェンロックス・アゾキストロピン水和剤	アブラムシ類	1000倍	収穫14日前まで	2回以内	散布		普	I
		カメムシ類							
		ハスモンヨトウ							
		マメシクイガ							
		紫斑病							
トライトレボン粉剤DL	イトフェンロックス・テブフロキン粉剤	カメムシ類	3～4kg/10a	収穫14日前まで	2回以内	散布		普	I
		タバコイサヤタバハエ							
		ハスモンヨトウ							
		フタスジヒメハムシ							
		マメシクイガ							
		紫斑病							
コナゴン	ダイモリア剤	オオタバコガ	露地:100～110m/10a(100mリール)	加害作物栽培の全期間		株上に沿い、作物上に支柱等を用いて固定		普	I
			露地:200本/10a(20cmチューブ)						

## ◆注意事項

- ・一覧表の農薬登録内容は原則令和5年12月15日現在のものです。
- ・農薬の使用にあたっては、必ず手持ちの農薬容器・包装のラベルに従ってください。
- ・普(普通物)とは、毒物・劇物に該当しないものを指している通称です。

薬剤名	農薬の種類	適用病害虫名	希釈倍数使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	備考	毒性	魚毒性
コナゴコンプラス	アルミゲルア・ダイアモルア剤	オオタバコガ	100～120本/10a(22g/100本製剤)	対象作物の栽培全期間		作物の生育に支障のない高さに支持棒等を立て支持棒にディスプレイを巻き付け固定し圃場に配置す		普	I
			20～40m/10a(55g/50m製剤)						
コンフェザーV	アルミゲルア・ウワハルア・ダイアモルア・ヒートアミルア・リトルア剤	オオタバコガ	100～120本/10a(41g/100本製剤)	対象作物の栽培全期間		作物の生育に支障のない高さに支持棒等を立て支持棒にディスプレイを巻き付け固定し圃場に配置す		普	I
		ハスモンヨトウ							
		ヨトウガ							
フェロデインSL	リトルア剤	ハスモンヨトウ雄成虫	2～4個/ha	成虫発生初期から発生終期まで		本剤をトラップ1台当り1個を取付けて配置する。取付けた薬剤は1.5～2ヶ月間隔で更新		普	I
ヨトウコンH	リトルア剤	ハスモンヨトウ	20～200m/10a(20cmフェーブの場合100～1,000本)	成虫発生初期から終期まで		露地(作物上に支柱等を用いて固定する。)		普	I

(3) 除草剤

①麦類

◆注意事項

- ・一覧表の農薬登録内容は原則令和5年12月15日現在のものです。
- ・農薬の使用にあたっては、必ず手持ちの農薬容器・包装のラベルに従ってください。
- ・普（普通物）とは、毒物・劇物に該当しないものを指している通称です。

薬剤名	農薬の種類	作物名	適用病害虫 雑草名	希釈倍数 使用量	使用時期	本剤の 使用回 数	使用方法	適用土 壌	備考	毒 性	魚 毒 性
MCPソーダ塩	MCPAナトリウム塩 液剤	麦類	一年生及 び多年生 広葉雑草	200～ 300g/10a	(秋播麦類)幼穂 形成期 但し収穫 45日前まで	1回	雑草茎葉散布又は全面 散布			普	I
カイツク細粒剤 F	ベンデイメタリン・リ ニロン粉粒剤	小麦 大麦	一年生雑 草	5～ 6kg/10a	は種直後(雑草発 生前)	1回	全面土壌散布	砂壤土 ～埴土		普	I
カイツク乳剤	ベンデイメタリン・リ ニロン乳剤	小麦 大麦	一年生雑 草	500～ 800mL/10 a	は種直後(雑草発 生前)	1回	全面土壌散布	砂壤土 ～埴土		普	I
カルナクス	グリホサートイソP ロピルアミン塩液剤	小麦	多年生休 科雑草	250～ 1000mL/1 0a	耕起前又はは種 前まで(雑草生育 期:草丈30cm以 下)	3回 以内	雑草茎葉散布			普	I
		麦類(小 麦を除く)	一年生雑 草	250～ 500mL/10 a	は種後出芽前 (雑草生育期)	1回					
		小麦				3回 以内					
		麦類(小 麦を除く)			耕起7日前まで (雑草生育期)	1回					
		小麦			耕起前又はは種 前まで(雑草生育 期:草丈30cm以 下)	3回 以内					
				250mL/10 a	収穫7日前まで (雑草生育期)						
		多年生雑 草	500～ 1000mL/1 0a	耕起7日前まで (雑草生育期:草 丈30cm以下)	1回						
ガレスG	ジフルフェニカン・トリ フルリン粉粒剤	小麦(秋 播栽培)	畑地一年 生雑草	4～ 5kg/10a	は種後発芽前(雑 草発生前)	1回	全面土壌散布	全土壌 (砂土 を除く)		普	I
		大麦(秋 播栽培)									
		小麦(秋 播栽培)									
		大麦(秋 播栽培)									
ガレス乳剤	ジフルフェニカン・トリ フルリン乳剤	小麦	一年生雑 草	200～ 250mL/10 a	は種後出芽前(雑 草発生前)	1回	全面土壌散布	全土壌 (砂土 を除く)		普	I
		大麦(秋 播栽培)									
キックホーク細 粒剤F	フロムカルブ・リ ニロン粉粒剤	小麦(秋 播)	一年生雑 草	3～ 4kg/10a	は種後出芽前(雑 草発生前)	1回	全面土壌散布	全土壌 (砂土 を除く)		普	I
クリアーン細粒 剤F	ベンチカーブ・ベン デイメタリン・リニ ロン粉粒剤	小麦	一年生雑 草	4～ 5kg/10a	は種直後(雑草発 生前)	1回	全面土壌散布	全土壌 (砂土 を除く)		普	I
		大麦									
クリアーン乳剤	ベンチカーブ・ベン デイメタリン・リニ ロン乳剤	小麦	一年生雑 草	500～ 700mL/10 a	は種直後(雑草発 生前)	1回	全面土壌散布	全土壌 (砂土 を除く)		普	I
		大麦									
ゴゴサン細 粒剤F	ベンデイメタリン粉 粒剤	麦類	一年生雑 草	5～ 6kg/10a	は種後出芽前(雑 草発生前)	1回	全面土壌散布			普	I
ゴゴサン乳 剤	ベンデイメタリン乳 剤	小麦	一年生雑 草	300～ 500mL/10 a	は種後(雑草発生 前)～小麦2葉期 (休科雑草1葉期 まで)	1回	雑草茎葉散布又は全面 土壌散布			普	I
		麦類(小 麦を除く)			は種後出芽前(雑 草発生前)		全面土壌散布				
サタンパアロ乳 剤	プロトリン・ベンチ カーブ乳剤	麦類	一年生雑 草	500～ 750mL/10 a	は種直後～麦出 芽前	1回	全面土壌散布			普	I
シナジオ乳剤	トリフルリン・IPC 乳剤	小麦	一年生雑 草(ユヅカ 科、カツリガ 科、ササ科)	300～ 400mL/10 a	は種後出芽前(雑 草発生前)	1回	全面土壌散布	全土壌 (砂土 を除く)		普	I
		大麦									

◆注意事項

- ・一覧表の農薬登録内容は原則令和5年12月15日現在のものです。
- ・農薬の使用にあたっては、必ず手持ちの農薬容器・包装のラベルに従ってください。
- ・普（普通物）とは、毒物・劇物に該当しないものを指している通称です。

薬剤名	農薬の種類	作物名	適用病害虫 雑草名	希釈倍数 使用量	使用時期	本剤の 使用回 数	使用方法	適用土 壤	備考	毒 性	魚 毒 性
タッチアウイQ	カリホサートカリウム 塩液剤	小麦(秋播)	一年生雑草	250～ 500mL/10 a	は種後出芽前(雑草生育期)	1回	雑草茎葉散布			普	I
		大麦			耕起又はは種前(雑草生育期)	3回					
		小麦(秋播)									
		大麦			収穫3日前まで(雑草生育期)	1回					
		小麦(秋播)	収穫7日前まで(雑草生育期)	3回 以内							
		大麦			多年生休 科雑草	500～ 1000mL/1 0a					
トリアサイト <sup>®</sup> 乳剤	トリフルリン乳剤	小麦	一年生雑草(ツクサ科、カヤツリガサ科、キ科、アザミ科を除く)	200～ 300mL/10 a	は種後出芽前～3葉期(雑草発生前～雑草発生始期)	2回 以内	雑草茎葉散布又は全面土壌散布			普	I
		麦類(小麦を除く)			生育期(雑草発生前)但し、収穫45日前まで		全面土壌散布				
		小麦									
トリアサイト <sup>®</sup> 粒剤2.5	トリフルリン粒剤	麦類	一年生雑草(ツクサ科、カヤツリガサ科、キ科、アザミ科を除く)	4～ 5kg/10a	は種後出芽前～3葉期(雑草発生前～雑草発生始期)生育期雑草発生前但し、収穫45日前まで	2回 以内	雑草茎葉散布又は全面土壌散布	砂壤土～埴土		普	I
		全面土壌散布									
ハーモニー75DF	チフェンスルフロメチル水和剤	小麦	カスノコグサ	10g/10a	麦1葉期～節間伸長前	1回	雑草茎葉散布又は全面散布			普	I
		大麦									
		小麦	一年生広葉雑草	3～ 10g/10a	節間伸長開始期～穂ばらみ期但し、収穫45日前まで						
		ギンギン類	3～ 5g/10a	秋播栽培の幼穂形成期但し、収穫45日前まで							
		小麦	スズメノテッポウ	5～ 10g/10a	は種後～麦2葉期						
		大麦									
		小麦	一年生広葉雑草								
		大麦									
		小麦	スズメノテッポウ		麦3葉期～節間伸長前						
		大麦									
小麦	一年生広葉雑草										
大麦											
ハーモニ細粒剤F	チフェンスルフロメチル粉粒剤	小麦	スズメノテッポウ	4～ 5kg/10a	は種後～麦3葉期(雑草発生前～発生始期)	1回	全面土壌散布	全土壌(砂土を除く)		普	I
		大麦									
		小麦	一年生広葉雑草								
		大麦									
ハカラン液剤(ナトリウム塩)	ヘンタゾン液剤	小麦	一年生雑草(イネ科を除く)	100～ 200mL/10 a	生育期但し収穫45日前まで	1回	雑草茎葉散布又は全面散布			普	I
		麦類(小麦を除く)			生育期但し収穫90日前まで						

◆注意事項

- ・一覧表の農薬登録内容は原則令和5年12月15日現在のものです。
- ・農薬の使用にあたっては、必ず手持ちの農薬容器・包装のラベルに従ってください。
- ・普（普通物）とは、毒物・劇物に該当しないものを指している通称です。

薬剤名	農薬の種類	作物名	適用病害虫 雑草名	希釈倍数 使用量	使用時期	本剤の 使用回 数	使用方法	適用土 壤	備考	毒 性	魚 毒 性	
ハスタ液剤	ケルソート液剤	小麦	一年生雑 草	300～ 500mL/10 a	は種後出芽前(雑 草生育期)	1回	雑草茎葉散布			普	I	
		大麦			は種前(雑草生育 期)	3回 以内						
		小麦			収穫7日前まで (雑草生育期)							
		大麦										
		小麦		300～ 750mL/10 a	は種前(雑草生育 期)	1回						
ハンパン細粒 剤F	エス <sup>®</sup> ロカル <sup>®</sup> ・ジ フルフェニオン <sup>®</sup> 粉粒 剤	小麦(秋 播)	一年生雑 草	3～ 5kg/10a	は種後出芽前～ 出芽揃期(雑草発 生前)	1回	全面土壌散布	全土壌 (砂土 を除く)		普	I	
ホクサー	フ <sup>®</sup> ロルホカル <sup>®</sup> 乳 剤	小麦	一年生雑 草	400～ 500mL/10 a	秋播栽培のは種 後～麦2葉期(雑 草発生前～発 生	2回 以内	雑草茎葉散布又は全面 土壌散布			普	I	
		大麦			秋播栽培の麦2～ 4葉期(雑草発 生前～発 生始期)							
		小麦										
ムキレンジャー乳 剤	フ <sup>®</sup> ロルホカル <sup>®</sup> ・リ ニオン <sup>®</sup> 乳剤	小麦	一年生雑 草	300～ 600mL/10 a	秋播栽培のは種 後出芽前(雑草発 生前)	1回	全面土壌散布		普	I		
		大麦										
ラウンドアップマ ックスロード	ケリサートカリウム 塩液剤	麦類	一年生雑 草	200～ 500mL/10 a	は種後出芽前(雑 草生育期)	3回 以内	雑草茎葉散布			普	I	
			一年生雑 草及び多 年生イ科		耕起前又はは種 前まで(雑草生育 期)							
			一年生雑 草									
			一年生雑 草及び多 年生イ科		収穫前日まで(雑 草生育期)							
リベレーターG	ジ <sup>®</sup> フルフェニオン <sup>®</sup> ・フル フェネソート <sup>®</sup> 粒剤	小麦(秋 播栽培)	一年生雑 草	4～ 5kg/10a	は種後～麦2葉期 (雑草発生前～イ 科雑草1葉期ま で)	1回	全面土壌散布	全土壌 (砂土 を除く)	普	I		
		大麦(秋 播栽培)										
リベレーターフロ アブル	ジ <sup>®</sup> フルフェニオン <sup>®</sup> ・フル フェネソート <sup>®</sup> 水和剤	小麦	一年生雑 草	60～ 80mL/10a	は種後～麦3葉期 (雑草発生前～イ 科雑草1葉期ま で)	1回	雑草茎葉散布又は全面 土壌散布	全土壌 (砂土 を除く)		普	I	
		大麦(秋 播栽培)										
草枯らし	ケリサートイソプロ ピルアミン塩液剤	小麦	多年生イ 科雑草	250～ 1000mL/1 0a	耕起前又はは種 前まで(雑草生育 期)	3回 以内	雑草茎葉散布			普	I	
		麦類(小 麦を除く)	一年生雑 草	250～ 500mL/10 a	は種後出芽前(雑 草生育期)	1回						
			小麦			3回 以内						
		麦類(小 麦を除く)	小麦			耕起7日前まで (雑草生育期)						1回
						耕起前又はは種 前まで(雑草生育 期)						3回 以内
					250mL/10 a	収穫7日前まで (雑草生育期)						
		多年生雑 草	500～ 1000mL/1 0a	耕起7日前まで (雑草生育期)	1回							

②大豆

◆注意事項

- ・一覧表の農薬登録内容は原則令和5年12月15日現在のものです。
- ・農薬の使用にあたっては、必ず手持ちの農薬容器・包装のラベルに従ってください。
- ・普（普通物）とは、毒物・劇物に該当しないものを指している通称です。

薬剤名	農薬の種類	作物名	適用病害虫雑草名	希釈倍数使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	適用土壌	毒性	魚毒性
アタックショット乳剤	フルアセットメチル乳剤	だいず	一年生広葉雑草	30～50mL/10a	本葉2葉期～開花前(雑草生育期)但し、収穫45日前まで	1回	雑草茎葉散布又は全面散布		普	I
エコトップP細粒剤F	ジメナミドP・リニロン粉粒剤	だいず	一年生雑草	4～6kg/10a	は種後出芽前(雑草発生前)	1回	全面土壌散布	全土壌(砂土を除く)	普	I
エコトップP乳剤	ジメナミドP・リニロン乳剤	だいず	一年生雑草	400～600mL/10a	は種後出芽前(雑草発生前)	1回	全面土壌散布	全土壌(砂土を除く)	普	I
カナルス	グリホサートイソプロピルアミン塩液剤	だいず	一年生雑草	250～500mL/10a	は種7日前まで(雑草生育期) は種後出芽前まで(雑草生育期:草丈30cm以下) 畦間処理:雑草生育期(草丈30cm以下)但し、収穫前日まで	2回以内	雑草茎葉散布		普	I
クリアタン細粒剤F	ベンチオカーブ・ペンテイメチン・リニロン粉粒剤	だいず	一年生雑草	4～5kg/10a	は種直後(雑草発生前)	1回	全面土壌散布	全土壌(砂土を除く)	普	I
クリアタン乳剤	ベンチオカーブ・ペンテイメチン・リニロン乳剤	だいず	一年生雑草	500～700mL/10a 500～800mL/10a	定植3日前まで(雑草発生前) は種直後(雑草発生前)	1回	全面土壌散布	全土壌(砂土を除く)	普	I
ザクザク液剤	グルルネートPナトリウム塩液剤	豆類(種実、ただし、らっかせいを除く)	一年生雑草	300～500mL/10a	収穫28日前まで(雑草生育期)は種・定植前又は畦間処理	3回以内	雑草茎葉散布		普	I
サターンPアロ粒剤	プロメトリン・ベンチオカーブ粒剤	だいず	一年生雑草	4～6kg/10a	は種後～出芽前(雑草発生前)	1回	全面土壌散布		普	I
サターンPホルト007	グリホサートイソプロピルアミン塩・ピラフルフェンエチル水和剤	だいず	一年生雑草	400～600mL/10a	は種後出芽前(雑草生育期) 畦間処理:雑草生育期 但し、収穫前日まで 耕起前又はは種10日前まで(雑草生育期)	2回以内	雑草茎葉散布		普	I
セレクト乳剤	クレゾジム乳剤	だいず	一年生休科雑草(スズメカビラを除く) スズメカビラ 一年生休科雑草(スズメカビラを除く)	35～50mL/10a 50～75mL/10a	雑草生育期(休科雑草3～5葉期)収穫50日前まで 雑草生育期(休科雑草5～8葉期)収穫50日前まで	1回	雑草茎葉散布又は全面散布		普	I

◆注意事項

- ・一覧表の農薬登録内容は原則令和5年12月15日現在のものです。
- ・農薬の使用にあたっては、必ず手持ちの農薬容器・包装のラベルに従ってください。
- ・普（普通物）とは、毒物・劇物に該当しないものを指している通称です。

薬剤名	農薬の種類	作物名	適用病害虫雑草名	希釈倍数使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	適用土壌	毒性	魚毒性	
タッチアウシQ	グリホサートカリウム塩液剤	だいず	一年生雑草	250～500mL/10a	は種後出芽前（雑草生育期）	2回以内	雑草茎葉散布		普	I	
			ヨウモミ		畦間処理：雑草生育期 但し、収穫前日まで						
			一年生雑草		耕起又はは種7日以前（雑草生育期）						
			一年生広葉雑草	2倍	生育期（雑草生育期） 但し、収穫7日前まで		雑草茎葉塗布				
トリアリサイド乳剤	トリフルリン乳剤	だいず	一年生雑草（ツユクサ科、ヤツリグサ科、キ科、アブら科を除く）	200～300mL/10a	は種後出芽前	1回	全面土壌散布		普	I	
					は種前		全面土壌混和				
					生育期 但し、収穫45日前まで		畦間土壌散布				
					定植前（植穴掘前）		全面土壌散布				
トリアリサイド粒剤2.5	トリフルリン粒剤	だいず	一年生雑草（ツユクサ科、ヤツリグサ科、キ科、アブら科を除く）	4～6kg/10a	は種後出芽前	1回	全面土壌散布	砂壤土～埴土	普	I	
					生育期 但し、収穫45日前まで		畦間土壌散布				
					定植前（植穴掘前）		全面土壌散布				
ナブ乳剤	セトキシジム乳剤	だいず	一年生イネ科雑草（スズメノカタビラを除く）	150～200mL/10a	雑草生育期イネ科雑草3～5葉期 但し収穫30日前まで	1回	雑草茎葉散布又は全面散布		普	I	
				200mL/10a							雑草生育期イネ科雑草6～8葉期 但し収穫30日前まで
				250～300mL/10a							雑草生育期イネ科雑草9～10葉期 但し収穫30日前まで
ハスター液剤	グリホサート液剤	だいず	一年生雑草	300～500mL/10a	は種後出芽前（雑草生育期）	3回以内	雑草茎葉散布		普	I	
					は種前（雑草生育期）						
					収穫28日前まで（株間処理：本葉5葉期以降雑草生育期）						
					収穫28日前まで（畦間処理：雑草生育期）						
					定植5日前まで（雑草生育期）						



◆注意事項

- ・一覧表の農薬登録内容は原則令和5年12月15日現在のものです。
- ・農薬の使用にあたっては、必ず手持ちの農薬容器・包装のラベルに従ってください。
- ・普（普通物）とは、毒物・劇物に該当しないものを指している通称です。

薬剤名	農薬の種類	作物名	適用病害虫雑草名	希釈倍数使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	適用土壌	毒性	魚毒性
パワーガイ液剤	イマザモックスンモウム塩液剤	だいず	一年生雑草	200～300mL/10a	出芽直前～3葉期まで(雑草発生始期～2葉期)	1回	雑草茎葉散布又は全面土壌散布		普	I
					生育期(雑草発生揃期～2葉期)但し、収穫30日前まで		畦間雑草茎葉散布			
フィールドスターP乳剤	シメナミトP乳剤	だいず	一年生雑草(アガ科・アブラ科・タデ科を除く)	75～120mL/10a	は種後出芽前(雑草発生前)	1回	全面土壌散布		普	I
フィールドスター乳剤	シメナミト乳剤	だいず	畑地一年生雑草(アガ科・アブラ科・タデ科を除く)	100～150mL/10a	は種後発芽前(雑草発生前)	1回	全面土壌散布	砂土を除く全土壌	普	I
ホルトフロアブル	キザロホップエチル水和剤	だいず	一年生イネ科雑草(スズメノカタビラを除く)	200～300mL/10a	雑草生育期(イネ科雑草の3～10葉期) 収穫30日前まで	1回	雑草茎葉散布又は全面散布		普	I
ラウンドアップマックスロード	グリホサートカリウム塩液剤	だいず	一年生雑草	200～500mL/10a	耕起前又は出芽前まで(雑草生育期)	2回以内	雑草茎葉散布		普	I
					収穫前日まで(雑草生育期: 畦間処理)					
ラクサー乳剤	アラクロール・リニロン乳剤	だいず	一年生雑草	400～800mL/10a	は種後出芽前(雑草発生前)	1回	全面土壌散布		普	I
ラクサー粒剤	アラクロール・リニロン粒剤	だいず	一年生雑草	4～8kg/10a	は種後出芽前(雑草発生前)	1回	全面土壌散布		普	I
ラッソ乳剤	アラクロール乳剤	だいず	一年生雑草	300～600mL/10a	は種後出芽前	1回	全面土壌散布	全土壌	普	I
ロックス	リニロン水和剤	だいず	一年生雑草	100～200g/10a	は種直後～出芽前(雑草発生前～発生始期)	1回	全面土壌散布		普	I
					本葉3葉期以降但し、収穫30日前まで(雑草生育期)		雑草茎葉兼土壌散布(畦間・株間処理)			
ワンクロスWG	フルアジホップP・リニロン水和剤	だいず	一年生雑草	200～300g/10a	本葉3葉期以降(雑草生育期)但し、収穫45日前まで	1回	雑草茎葉兼土壌散布(畦間・株間処理)		普	I
				250～300g/10a	は種後出芽前(雑草発生前)		全面土壌散布			

◆注意事項

- ・一覧表の農薬登録内容は原則令和5年12月15日現在のものです。
- ・農薬の使用にあたっては、必ず手持ちの農薬容器・包装のラベルに従ってください。
- ・普（普通物）とは、毒物・劇物に該当しないものを指している通称です。

薬剤名	農薬の種類	作物名	適用病害虫雑草名	希釈倍数使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	適用土壌	毒性	魚毒性	
ワンサイト <sup>®</sup> P乳剤	フルアジ <sup>®</sup> ホップ <sup>®</sup> P乳剤	だいず	シハ <sup>®</sup> ムギ <sup>®</sup>	100mL/10a	雑草生育期(イネ科雑草5~8葉期)但し、収穫60日前まで	1回	雑草茎葉散布又は全面散布		普	I	
			レット <sup>®</sup> トップ <sup>®</sup>								
			一年生イネ科雑草(スズメノカタビラを除く)								
			シハ <sup>®</sup> ムギ <sup>®</sup>								雑草生育期(イネ科雑草8~10葉期)但し、収穫60日前まで
			レット <sup>®</sup> トップ <sup>®</sup>								
			一年生イネ科雑草(スズメノカタビラを除く)								
シハ <sup>®</sup> ムギ <sup>®</sup>	75~100mL/10a	雑草生育期(イネ科雑草3~5葉期)但し、収穫60日前まで									
レット <sup>®</sup> トップ <sup>®</sup>											
一年生イネ科雑草(スズメノカタビラを除く)											
草枯らし	グリサートイ <sup>®</sup> プロピ <sup>®</sup> ル <sup>®</sup> ミン塩液剤	だいず	一年生雑草	250~500mL/10a	は種7日前まで(雑草生育期)	2回以内	雑草茎葉散布		普	I	
			は種後出芽前まで(雑草生育期)								
			畦間処理:雑草生育期 但し、収穫前日まで								
大豆バサ <sup>®</sup> ラ <sup>®</sup> ン液剤(ナトリウム塩)	ペンタゾ <sup>®</sup> ン液剤	だいず	一年生雑草(イネ科を除く)	100~150mL/10a	だいずの2葉期~開花前(雑草の生育初期~6葉期)但し収穫45日前まで	1回	雑草茎葉散布又は全面散布		普	I	
				300~500mL/10a	だいずの生育期(雑草の生育初期~6葉期)但し収穫45日前まで						畦間雑草茎葉散布